



第3号&第4号議案

特定非営利活動法人SEIN

# 2022年度事業計画書（案） &活動予算書（案）

事業期間：2022年 4月1日 ～ 2023年3月31日

## 2022年度 事業計画書（案）

### （１）2017年度より10年間の長期計画

地域の多様なステークホルダーと共に、課題解決と理想実現を目指して集合知を生み出しながら活用する手法（コレクティブ・インパクト）を用いて、誰もが本当の豊かさを追求できる「役割と稼ぎがめぐりめぐる地域社会」づくりに取り組みを進めています。

### （２）長期計画を実現するための当面の取組み

長期計画を実現するために、泉北ニュータウンに焦点を当てた活動に取り組みます。またニュータウンに限らず、「南大阪」のエリア価値向上に向けた事業を展開することで、より広範囲の都市再生、地域再生につながると考えます。

今後10年を考えた時に、日本社会で増加・拡大しそうな課題として次のものがあります。

- ☐ 多様な社会課題に対応できる担い手育成
- ☐ 若者の定住促進に偏った人口施策
- ☐ 地域の新たな担い手としての女性の参画機会と事業の継続性
- ☐ 介護の担い手の確保と健康づくり
- ☐ 貧困世帯へのサポート
- ☐ 地元で生まれた若者へチャレンジの支援(働く場/チャレンジできる機会の提供等)

また、2019年度より、全世界に新型コロナウイルスが蔓延しました。コロナ禍の地域社会ではこれまで想定していた課題がより顕在化し、状況は深刻化、さらに格差社会が広がり、社会的弱者と呼ばれる人たちの孤立化も進みました。多様な組織がパートナーシップを組んでこの難局を打開していく重要性がさらに増しており、私たちもさらに取り組みを深めていく必要性を感じています。

こうした課題の解決に向けた可能性を持つ資源が豊富だと考えているニュータウンにて、私たちのミッションである、「役割と稼ぎがめぐりめぐる地域社会」づくりに集中し、まずは「ニュータウンで地域に根ざす小さな経済を生み出しながら、これからの地域コミュニティの再構築をする」を茶山台で実現していくことにさらに邁進していきます。

### （３）2022年度の事業実施の方針

重点事業:茶山台校区の団地型自治の進化・モデルづくり

茶山台としょかんは5年目、やまわけキッチンが4年目に入り、茶山台校区のコーディネート+住民の見守り機能を果たしています。基盤が弱体化している自治会や校区福祉委員会などの地域組織のアップデートや、茶山台全体としての取り組みに対して、もう一步踏み込み、小学校単位の地域のプラットフォーム支援(活動記録の共有・発信・基本的な運営事務の構築・効率化・地域福祉の目的に沿った組織再編・コミュニケーション円滑化)に取り組み、持続可能な地域のモデルづくりに取り組みます。

## II 事業の実施に関する事項

重点事業:「茶山台校区の団地型自治の進化・モデルづくり」に関連する事業

#### A. 茶山台集会所を活用したコミュニティ支援

大阪府住宅供給公社との協働（委託）事業 主な業務は「茶山台としょかん」の開館週3日（水・金・土）に開館。としよ係は現在5名。

#### B. 団地の空室を使ったコミュニティ支援。

公社茶山台団地の一室を大阪府住宅供給公社より家賃免除いただき、自主事業として「丘の上の惣菜屋さん“やまわけキッチン”」を週4日（月・火・金・土）営業。スタッフは現在4名。

#### C. 茶山台団地における地域のプラットフォーム構築

地縁組織の強みを活かした、地域づくり的側面や福祉的側面のネットワークの基盤を強化します。そのために、2022年度は、新たに住民主体のNPO法人を立ち上げ、その法人が軸となり、茶山台団地の自治を育むための基盤とプラットフォームを作ります。

＜参考＞定款上の事業内容に沿った今年度予定している事業は以下の通りとなります。

No.	事業名	事業実施について	財源	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	2022年度予算
(1) エリアの価値向上に取り組む							
1	泉ヶ丘駅前エリア マネジメント事業	●つながるdays・エリア マネジメント事務局 ・夏と秋に開催予定	委託事業 (南海電鉄)	通年	泉ヶ丘 駅前	3名	1,943,332
		●つながる食堂の立ち 上げ・運営	立ち上げ資金 (南海電鉄) 運営(自主財 源)	通年	泉ヶ丘駅 前	1名	2,560,000
2	河内長野駅前 エリマネ	●商店街のエリアマネ ジメント事業 ・商店街のDX化支援	補助金事業	通年	河内長野 駅前	1名	400,000
(2) 事業者・市民の協働プラットフォームづくりに取り組む							
1	和泉市生涯学習セ ンター「いずみ市 民大学」まちづく り学務業務	●いずみ市民大学のコ ーディネート・人材育 成	委託事業 (JTBコミュ ニケーションズ)	通年	和泉市	1名	2,152,700
2	河内長野市 健康づくり推進	●河内長野市保健セン ター 健康づくり推進員のネ ットワークづくり	委託事業	通年	河内長野 市	2名	160,000
(3) 地域の居場所づくりに取り組む							
1	茶山台集会所を活 用したコミュニテ ィ支援	●大阪府住宅供給公社 との協働事業 茶山台としょかんの 開館	委託事業	通年	茶山台	5名	1,848,000
2	やまわけキッチン 運営事業	●団地の空室を使った コミュニティ支援	自主事業	通年	茶山台	4名	3,420,000
3	茶山台団地の視察 対応事業	●大阪府住宅供給公社 からの委託事業 公社に依頼のある視 察の対応業務	委託事業	通年	茶山台	2名	60,000
4	咲っく南花台 支援事業	●事業に持続性を高め る事業構築支援 支え合い組織の法人化 に向けた支援	NPO法人	通年	南花台	1名	24,000
5	視察受け入れ (オンライン化)	・視察のオンライン受 け入れ	自主事業	通年	泉ヶ丘を 中心とし	3名	350,000

					た泉北ニ ュータウ ン		
(4) 地域の困りごと解決事業							
1	事務局支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●泉北のまちと暮らしを考える財団</li> <li>●場とコトLAB</li> <li>●観濠クルーズSakai</li> <li>●地縁組織支援</li> </ul>	自主事業	通年	堺市内	2名	3,413,400

②コミュニティカフェ運営事業  
2022年度は実施しない。

③広域協働促進事業

No.	事業名	事業実施について	財源	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	2022年度予算
1	協働する市民活動のバックヤード支援事業	●災害時のクラウドファンディング立ち上げ	自主事業	通年	全国	1名	0
2	KNN事務局事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中間支援の基盤強化支援</li> <li>●災害時の支援環境の構築支援</li> </ul>	自主事業	通年	関西	1名	0
3	企業のCSR活動支援事業	●住友ゴムCSR基金 南大阪の交通安全・環境保全等の団体を推薦し、1年間の事業サポートを行う。	委託事業	通年	南大阪	2名	168,300
4	NPOとICT企業のツールの流通網整備事業	●ICTアワード大賞などの事務局	助成金事業	通年	全国	2名	200,000

④その他、目的を達成するための事業

No.	事業名	事業内容	財源	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	2022年度予算
1	講師派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●河内長野市生涯学習関連の取り組み</li> <li>●桃山学院大学地域連携機構連携授業</li> <li>・大阪ええまちアカデミー講師派遣</li> </ul>	自主事業	通年	全国	2名	1,890,000

計		33名	15,687,732
---	--	-----	------------

法人名： 特定非営利活動法人SEIN

## 活動予算書(案)

2022年4月1日～2023年3月31日

(単位:千円)

科 目	2022年度予算
<b>I 経常収益</b>	
1. 受取会費	54
正会員受取会費	33
賛助会員受取会費	9
賛助法人受取会費	12
専門会員受取会費	0
2. 受取寄付金	
受取寄付金	280
3. 受取助成金等	
受取民間助成金	0
4. 事業収益	15,687
地域の仕組みづくり事業	13,429
コミュニティカフェ運営事業	0
広域協働促進事業	368
その他事業(主に講師派遣事業)	1,890
5. その他収益	0
受取利息	0
雑収益	0
経常収益計	16,021
<b>II 経常費用</b>	
1. 事業費	
(1)人件費	
給料手当	2,284
法定福利費	0
通勤費	120
人件費計	2,404
(2)その他経費	
事業に係る経費	3,526
その他経費計	3,526
事業費計	5,930

<b>2. 管理費</b>	
<b>(1)人件費</b>	
給料手当	7,716
法定福利費	981
<b>人件費計</b>	<b>8,697</b>
<b>(2)その他経費</b>	
通信運搬費	68
印刷製本費	120
賃借料	517
支払手数料	216
地代家賃	180
租税公課	0
雑費	180
減価償却費	0
<b>その他経費計</b>	<b>1,281</b>
<b>管理費計</b>	<b>9,978</b>
<b>3. 経常外費用</b>	<b>0</b>
雑損失	0
<b>経常費用計</b>	<b>15,908</b>
<b>税引前当期正味財産増減額</b>	113
<b>法人税</b>	<b>70</b>
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>43</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>	△ 19,805
<b>次期繰越正味財産額</b>	<b>△ 19,762</b>